$10/15 \sim 16$



「ケトンが体を蝕む二日酔い、 朝から『カツ丼』はキツい・・・」



JA 西日本くみあい飼料株式会社広島営業所 獣医師 - 中尾 継幸(なかお つぐゆき)氏

酸の総称ですが、これに関して、 たち人間に最も馴染み深い現象は、 トン、アセト酢酸、βヒドロキシ酪 ミノ酸の不完全代謝産物であるアセ ン体とは脂肪酸やア

種々あるそうです。 増加し、臨床症状を惹起には「体内にケトン体が 生する症状で、教科書的 疾患のイメージがありま と接する私たちはケト 見当がつくようです。牛 る独特の臭いから直ぐに があります。 「ケトン体」と「ケトーシス」のお話で 今回はそんなお酒にも関係がある 焼酎のお湯割りが恋しくなります。 に手が伸びていましたが、 した状態」を指し、 すが、これは人間にも発 シスと言えば乳牛の代謝 なるとケトー す。乳牛が分娩後にエサを食べなく に寒さを覚えるようになった今では ついこの間までは冷蔵庫のビール 牛体から発す ベテランの酪農家さん シスと診断されること その種類や原因も 秋の夜長

かず重度の低血糖状態となるため、養の状況に陥ると糖の供給が追いつバランスによるものです。牛が低栄 それにて血中の遊離脂肪酸が増えま をエネルギーに変換しようとします。 体脂肪を動員して放出される脂肪酸 一度に大量の脂肪が流れ込む てケ

ダルく、 足した時に脂肪組織からケトン体が は糖分が必要ですが、この糖分が不 肝臓がアルコールを分解するために います。目が覚めると体中がとても酒を飲んだ翌朝の「二日酔い」だと思 必要以上に作られ、過剰に体内に蓄 の原因がケトン体という物質です。 後もしばらく倦怠感が続きます。 食は 体からアルコールが抜けた ルくなるのです。 する要因は複雑です 積すると疲れ易くダ 方、 トン体が 乳牛にお 発生

> 量を確保し痩せさせないようにす 後は良質粗飼料を十分に与え、採食

とともに、併せて低カルシウム血症

の予防も重要です。

なく乾乳し、そのまま分娩を迎える

に栄養量を調節して過肥にすること

ようにします。また乾乳期から分娩

としてケトン体の生成が増加するの

特に太った牛ではこの傾向が顕著で です。これがケトーシスの状態です。

それを防ぐためには泌乳後期

ネルギー需給のアン 泌乳量増加によるエ 前後の採食量不足と その多くは分娩

シス

湧かず、 日酔い予防にも飲む時は肴を食べ します。 います。 がら、そして何よりお酒の量は程 分かります。そんなワケで農場にて 態で濃厚飼料を給餌されても食欲は はムリであるのと同様、牛もその状 に陥ると体調はまさに二日酔い状態 に栄養充足が大切であるように、 で、体は不快感で覆われていると察 、は牛および人間ともども似通って このようにケトン体発生のカラク との教訓が頭をよぎるのです。 シスに遭遇すると、その予 二日酔いの朝食に『カツ丼』 乾草しか食せない気持ちが 想像するに牛がケト

発足から十周年目を迎えた。 「食彩館しょうばら ゆめさくら」は

HARU」として出店参入している。 のアンテナショップ「ミルクファ・ 事処花ほぼろとともに、広酪も酪農 めぐみ、特産店・ミート工房、 を上げ、朝どり市、米麦工房二十 成十四年四月に庄原市新庄町に産市 お食

発信を行った。。

酪農家のアンテナショップとして情報

餅巻きをし来客者を楽しませた。 など六演目、大黒舞が披露された後 太鼓のメンバーの皆様による「雷神 と挨拶し、その後、地元の勇壮な永江 方々を初め各方面からのご支援に感謝 年目を迎えている。誕生以来、 店長)が、「ゆめさくらが誕生して十周 崎哲治会長(ミルクファームHARU る店舗の連絡協議会会長を務める、藏 し、今後の協力とご愛顧をお願いする」 イベントにあたり、 同施設に参入す 地元の

P

ゆめせくら

客者に訴えるため、 太平洋経済連携協定) 参加反対を来 話題急浮上のT 前面に『T 『TPP参加

めさくら -周年イベントを開いた。 毎年この時期、恒例となっている「ゆ

この施設、 秋まつり」の開催に併せて 庄原市が主体を成して平

このイベントに併せて、 藏崎店長



酪農アンテナショップ情報

太鼓

にあたった。 MOU(猛) 反対』と刷り込んだトレー ナーに身を包み、ビラ等を配布し啓発

併せて、ミルクファー があるの、 と激励の言葉を受け取っていた。 このように今回の十周年イベントに 受け取った来客者から「そんな問題 大変だ。 頑張って下さい ムHARUでは

うべきと示唆する記事も目立って の新聞報道では国民的議論を充分行 TPP参加問題は、 政府にその決定判断がある。最近 国会審議は不要

(TPP 反対活動の様子)